

# 生活扶助費削減で深刻な実態

6/17 木曜

## 厚労省集計 大世帯ほど影響大

厚生労働省は6日、  
2013年から段階的に  
行った生活保護の生  
活扶助費削減による影  
響の集計結果を明らか  
にしました。それによ  
ると、削減額が「1万  
円超2万円未満」の母  
子世帯は約4万4千世  
帯、5人以上の母子世  
帯では削減額が2万円  
を超えた世帯も250  
近くあり、世帯人が多  
いほど大きな影響を受  
けています。

同省がこの日開かれ  
た社会保障審議会生活  
保護基準部会に示しま  
した。深刻な実態が政  
府の集計によって明ら  
かになりました。  
安倍政権は13年8月  
から、食費や光熱費など  
の生活扶助基準について  
段階的「見直し」を実施。  
厚労省は今回の集計につ  
いて、「見直し」前後の生活扶  
助費を推計し、影響額を  
把握したとしています。  
この日の会議で厚労省は、今後  
の生活扶助費動向などをみるモ  
デルの検証において消

基準の検証において消  
費動向などをみるモデル世帯について、「高  
齢単身」と「夫婦子」人を提示。これに対  
し委員の山田篤裕・慶應大教授は文書で、65  
歳以上の消費水準を生  
じて、15年7月に行  
われた生活保護の家賃  
にあたる住宅扶助費の  
削減によって実家賃が  
住宅扶助限度額を超え  
た世帯が27万世帯あり、うち約2万世帯が  
転居した状況も報告。  
約5万世帯に「転居指  
導」を行っているとし  
ました。(16年10月1  
日時点)

この日の会議で厚労省は、今後の生活扶助  
費動向などをみるモデルの検証において消  
費動向などをみるモデル世帯について、「高  
齢単身」と「夫婦子」人を提示。これに対  
し委員の山田篤裕・慶應大教授は文書で、65  
歳以上の消費水準を生  
じて、15年7月に行  
われた生活保護の家賃  
にあたる住宅扶助費の  
削減によって実家賃が  
住宅扶助限度額を超え  
た世帯が27万世帯あり、うち約2万世帯が  
転居した状況も報告。  
約5万世帯に「転居指  
導」を行っているとし  
ました。(16年10月1  
日時点)

行うことが必要ではない  
「何らかの基盤的生活  
費との参照を並行して  
いた。